



会 社 名 比較.com 株式会社 代表者名 代表取締役社長 渡邉 哲男 (コード番号 2477 東証マザーズ) 問合せ先 経営企画室長 岩館 徹 (TEL, 03 - 5447 - 6690)

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、下記のとおり特別損失が発生する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 8 月 10 日の決算発表時に公表した平成 20 年 6 月期(平成 19 年 7 月 1 日~平成 20 年 6 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容

(1) 固定資産等の減損損失(連結・個別)

当社が保有する固定資産等の一部(インターネット広告事業に関連する建物および構築物、工具器具および備品)について、将来の回収可能性を勘案した結果、14百万円の減損損失を計上しております。

(2) のれんの減損損失(連結)

当社連結子会社の現在の事業環境から、将来の損益状況及び今後の見通し等を勘案した結果、短期的な純資産価値の回復が困難との判断に至り、連結業績において、のれんの一部を償却したことにより34百万円の減損損失を計上しております。

(3) 関係会社株式評価損(個別)

当社の連結子会社の業績等を勘案し、個別業績において関係会社株式評価損として 28 百万円を計上しております。

2. 平成 20 年 6 月期中間業績予想数値の修正 (平成 19 年 7 月 1 日~平成 19 年 12 月 31 日) (1)連結 (単位:百万円,%)

						売 上	高	営業利益	È	経常利益	当期純利益
前	口	発	表	予	想(A)		314	$\triangle 46$	6	△39	△51
今	回 修 正 予 想(B)			284	$\triangle 62$	2	$\triangle 56$	△121			
増		減		額	(B-A)	2	∆30	△16	6	△17	△70
増	曾 減 率 (%)				率 (%)	Δ	.9.6	_	_	_	_
	(ご参考) 前期実績(平成19年6月期中間期)						184	△21	1	△21	△31

(2) 個別 (単位:百万円,%)

						売	上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前	口	発	表	予	想 (A)		204	△92	△76	△76
今	口	修	正	予	想 (B)		156	△80	△64	△107
増		減		額	(B-A)		△48	12	12	△31
増	增 減 率(%)				率 (%)		△23. 5	_	_	_
	(ご参考) 前期実績(平成19年6月期中間期)						184	△21	△20	△30

3. 平成 20 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 19 年 7 月 1 日~平成 20 年 6 月 30 日) (1)連結 (単位:百万円,%)

				売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益			
前 回	発	表	想 (A)	682	△16	△6	△31			
今 回	修	正 予	想 (B)	603	△96	△87	△170			
増	減	額	(B-A)	△79	△80	△81	△139			
増	減		率 (%)	△11.6	_	_				
(ご参考 前期実績		19年6	月期通期)	372	△93	△91	△102			

(2) 個別 (単位:百万円,%)

						売 上 高	ĵ	営業利益	経常利益	当期純利益
前	口	発	表	予	想 (A)	46	1	△59	△30	△30
今	口	修	正	予	想(B)	343	3	△133	△108	△152
増		減		額	(B-A)	△118	8	△74	△78	△122
増	曾 減 率(%)					△25.	6		_	_
	ご参考 明実績		戊 19	年6	月期通期)	37	1	△94	△91	△101

4. 中間期業績予想修正の理由

個別業績におきましては、当社グループの主軸事業であるインターネット広告事業において、 売上高における構成比率の高いアフィリエイト広告業務が低調に推移していることにより、売上 高におきましては前回予想を下回る見通しであり、同事業の不振に伴い固定資産の一部において 減損損失を計上しております。また、連結子会社であるもっとネクスト株式会社の業績不振によ り、関係会社株式評価損を計上しております。

連結業績におきましては、当期より参入したアプリケーションサービス事業において、連結子会社である株式会社プラスアルファの付加価値の高く競争力の高い製品力を背景に導入クライアント数は堅調に推移しておりますが、個別業績の修正理由を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、中間純利益につきましても前回予想を下回る予想です。なお、関係会社株式評価損は、連結処理上は消去されるため連結業績における計上はありませんが、のれんの一部償却により減損損失を計上しております。

5. 通期業績予想修正の理由

中間期業績予想の修正を踏まえて、通期業績予想につきましても連結、個別においてそれぞれ修正を行っております。

当社グループでは、投資家の皆様のご期待に沿うよう、今後も引き続き、役職員一同、鋭意努力して参りますので、引き続きご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

(注)本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、今後、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上